

令和4年度（2022年度）

管理事業名	地域環境保全事業			総合計画 の体系	大綱 5 環境		
					政策 1 環境先進都市のまちづくり		
					施策 3 安全で健康な生活環境の保全と自然共生の推進		
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 4	衛生費	(項) 1	保健衛生費	(目) 7	環境保全費
部局名	環境部	予算執行 所属	環境政策室・管路保全室				
<b>事業の目的と概要</b> 【目的】市民の良好な生活環境の保全を目的としている。 【概要】・生物多様性保全施策推進事業（市民が生物多様性について理解し、生物多様性の保全に配慮したライフスタイルを実践することを旨とし、啓発等を行う） ・地域循環共生圏事業（地域循環共生圏の構築を具体化するための検討会を立ち上げ、吹田市の公共施設への木材利用を推進） ・危険動物捕獲事業（アライグマ等危険動物の捕獲及び処分を行うとともに、捕獲器の貸し出しを行う） ・環境美化啓発事業（環境美化の啓発を図るとともに、清掃用具の貸与などの支援を行う） ・環境美化清掃委託事業（環境美化推進重点地区等における清掃を行う） ・河川環境事業（河川管理者である大阪府との協働により、糸田川の河川清掃を行い、環境の美化・保全に努める）							

I 成果指標（活動指標）

指標名	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	指標の定義
環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所数	箇所	0(9)	0(9)	0(9)	地区指定をした箇所数（ ）は総指定地区数
環境美化推進員数	人	1139	506	601	推進員の総数（任期2年）
生物多様性保全イベント参加者数	人	623	1254	1,312	生物多様性保全イベント参加者総数
アライグマ捕獲頭数	頭	30	24	54	※令和5年度行政評価から変更

II 活動実績・成果

<p>※令和5年度行政評価から指標「鳥獣に関する捕獲許可申請件数」を「アライグマ捕獲頭数」に変更</p> <p>【成果指標1】環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区の指定箇所数についての評価          ・指定箇所0か所（総指定地区数9か所）（前年度と増減なし）          環境美化推進重点地区及び路上喫煙禁止地区に指定してきたことで、環境美化に対する意識の向上につながり、ポイ捨て等違反行為が減少してきた。指定箇所数については、平成30年度を最後に指定できていない状況だが、スモークフリーシティーを目指す取組みが進められていることや、新たな喫煙所の設置場所を見出すことが難しい状況などを踏まえ、新たな指定について検討していく。</p> <p>【成果指標2】環境美化推進員数についての評価          ・令和4年度：601人（前年比：95人の増）          環境美化推進員については、令和3年度と比較し95人増加した。          市民・事業者が連携して、清潔できれいなまちをつくるためには、環境美化推進員数を増やしていくことが必要である。</p> <p>【成果指標3】生物多様性保全イベント参加者数についての評価          ・令和4年度：1,312人（前年比：58人の増）          生物多様性保全イベント参加者数については、令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症対策をとった上でイベントが実施されるようになり、令和4年度は実施回数が増えたとともに、増加している。</p>	<p>【成果指標4】アライグマ捕獲頭数についての評価          ・令和4年度：54頭（前年度より30頭の増）          生活環境に係る被害状況については近年増加傾向にあるが、その増加に速やかに対応できるよう資機材の整備が必要である。</p> <p>【財務情報に基づいた評価】          卒煙支援ブース（密閉型喫煙所）の建設により施設老朽化率が50.9ポイント低下した。（61.3%→10.4%）</p>
---	---

III 課題と今後の取組

<p>吹田市環境美化に関する条例が目的としている清潔できれいなまちをつくり、生活環境の向上を図るためには、市民・事業者で構成される環境美化推進員をはじめ多くの方々と協力して公共空間の環境美化の推進を進めていくことが必要である。</p> <p>地区指定してきた箇所については、環境美化に対する意識の向上につながり、地区指定をしていない箇所に比べて、ポイ捨てや歩きたばこ等違反行為が減少している。</p> <p>今後、地区指定については、スモークフリーシティー実現への取組みや新たな喫煙所設置が困難である状況を踏まえ検討することが必要である。加えて、環境美化推進員数の更なる確</p>	<p>保のため、地域による身近な清掃活動等に参加できるきっかけとなるような取組を検討することが必要である。</p> <p>現状の経常費用の構成については妥当であるものの、新たに地区指定する場合は、物件費である清掃委託事業の委託料の増加が見込まれるため、シルバー人材センターや地域の団体など、幅広い担い手の確保が課題である。</p> <p>禁煙を促す卒煙支援ブースの適切な維持管理に努めるほか、路上喫煙防止啓発員による効率的な啓発活動を継続する。</p> <p>生物多様性保全イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえたイベントを検討する。</p>
--	--

IV 財務情報

◆貸借対照表【BS】

(単位：千円)

勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A	勘定科目	令和3年度末 A	令和4年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	2,550	2,696	146
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	短期借入金	-	-	-
短期貸付金	-	-	-	賞与引当金	2,550	2,696	146
徴収不能引当金	-	-	-	未払金	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	3,540	41,642	38,101	その他流動負債	-	-	-
土地	-	-	-	固定負債	25,517	24,751	△767
建物・工作物	3,540	41,642	38,101	地方債	-	-	-
リース資産	-	-	-	長期借入金	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	退職手当引当金	25,517	24,751	△767
無形固定資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
有形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
土地	-	-	-	負債の部合計	28,067	27,447	△621
建物・工作物	-	-	-	純資産	△24,527	14,195	38,722
建設仮勘定	-	-	-	重要物品	-	-	-
重要物品	-	-	-	図書館資料	-	-	-
図書館資料	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	出資金	-	-	-
出資金	-	-	-	長期貸付金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	基金	-	-	-
基金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	その他債権	-	-	-
その他債権	-	-	-	純資産の部合計	△24,527	14,195	38,722
資産の部合計	3,540	41,642	38,101	負債及び純資産の部合計	3,540	41,642	38,101

◆行政コスト計算書【PL】

(単位：千円)

勘定科目	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	3	3	-	△3
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	194	199	199	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	-	-	5	5
経常収入 小計(a)	197	202	204	1
給与関係費	26,079	31,801	32,555	755
物件費	14,182	22,201	8,359	△13,842
維持補修費	1,188	1,120	546	△574
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	118	216	98	△117
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	847	847	830	△17
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	2,169	2,550	2,696	146
退職手当引当金繰入額	△4,106	7,598	1,425	△6,173
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	40,476	66,332	46,510	△19,822
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△40,279	△66,130	△46,307	19,823
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	160	160
特別収入 小計(d)	-	-	160	160
特別費用	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	363	363
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	-	-	363	363
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	△203	△203
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△40,279	△66,130	△46,510	19,620
一般財源充当額	46,112	59,279	48,027	△11,252
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	5,833	△6,851	1,517	8,368

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表【CF】

(単位：千円)

区分	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	197	202	204	1
行政サービス活動支出	46,309	59,659	46,301	△13,358
行政サービス活動収支差額	△46,112	△59,456	△46,097	13,359
投資活動収入	-	177	37,205	37,028
投資活動支出	-	-	39,135	39,135
投資活動収支差額	-	177	△1,930	△2,107
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△46,112	△59,279	△48,027	11,252
一般財源充当額	46,112	59,279	48,027	△11,252
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

財務諸表の特徴的な事項

勘定科目等	特徴的な事項
【BS】 建物・工作物	卒煙支援ブース39,135千円の増
【PL】 物件費	自然共生事業委託料15,362千円の減
【CF】 行政サービス活動支出	自然共生事業委託料15,362千円の減
【CF】 投資活動収入	環境まちづくり基金繰入金(卒煙支援ブース)37,129千円
【CF】 投資活動支出	卒煙支援ブース委託料及び工事請負費39,135千円

単位当たりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」÷「実績」)

単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度
市民1人あたりのコスト	107円	175円	120円
実績	376,944人	378,781人	381,238人
コスト	円	円	円
実績			
分析内容	市民1人当たり120円のコストがかかっています。		

人にかかるコストの内訳

	給与関係費等(千円)	うち時間外手当等(千円)	月平均従事人数(人)
常勤・再任用	35,331	811	4.25
会計年度任用等	1,346		
特別職非常勤	-		
合計	36,676		

分析指標

分析指標	年度	令和2年度	令和3年度 A	令和4年度 B	差 B-A
施設老朽化比率		52.0	61.3	10.4	△ 50.9
施設維持補修費比率		13.0	12.3	1.2	△ 11.1
経常費用対公共資産比率		443.0	726.0	100.1	△ 625.9
徴収不能引当率		-	-	-	-
受益者負担比率		0.0	0.0	-	0.0
一般財源充当比率		99.6	99.4	56.2	△ 43.2